

小精廬日誌

昭和十年七月以降

特別

14

1919

620

35

40

45

50

小幡日記

昭和十年七月

七月

十日

晴 朝来於松を著す 田村社ニラ 東坊
 牧田清之助の若め 坊の道邊の邊 皇三の三原
 北野署 萩の沖三ヶと 仁和寺本古 鈔本邊
 心方の 旗巻本も 始り来す 合田信忠
 村隆素流 廿一日 栗城合の 併三のき 内森文

寛政十一年六月、石垣より耳納、萩に至る一
行、聖徳法皇を護り、四時、安田、果次
而を神心、稀に復た、臨む、各所を中
の賜る、到る、安田方、法法、十時、三十、地
宮、さう、洞、も、さう、少、の、難、お、か、静、云、法
反、さ、平、大、地、宮、有、投、皇、大、さ、う、と、報
す

十二日

昨今朝、少少、候、節、長、治、の、内、宮、の
の、候、候、を、報、す、吉、田、秀、人、出、渡、部、の、候、の、事

未後、再び、減、資、お、り、の、候、大、石、山、に、危、馬
の、報、さ、う、阪、上、の、危、さ、う、注、射、と、さ、う、文、墨、の
福、の、小、序、と、書、す、又、山、市、上、井、金、三、の
り、余、の、徳、善、秋、山、陽、と、就、て、未、去、十、一、時、光、を
候、と、出、渡、部、の、危、な、候、に、酒、飯、と、物、
又、心、事、お、り、の、候、今、年、八、一、と、細、書、の、候、に、於
て、日、之、出、の、候、に、一、程、と、書、す、と、さ、う、書、
竹、葉、と、書、す、と、書、す、と、書、す、今、年、八、一、と、書、
矢、吹、と、書、す、と、書、す、今、年、八、一、と、書、
候、候、小、後、附、の、候、合、合、お、在、と、書、す、引、掛、の、

他、物類も由りたまふ、松本正盛知(五)と
の法押代七十目抄也

十三日

明、大石正巳死去、今打降く、文里墨紙漏りか
序も郵送、今法一に速達(の返)考も
す、三井金三、河内、陪著、二程の志、魁
を考し、今抄、投郵、所記の玄田、如、
物を野も、強奴と書、時を後、
存、存の、事、法、大、未、今、
様原製

舟、
中、天の贈品、
未書、
河、
三、
十、

十四日

日

小、
廿、
部、
牧、
物、

十五日

時、
白、

朝と暮と年と午後後法軌演、梅雨季漸
やくとる、炎熱加い

十六日

晴、炎暑甚し、加い、朝来龍舟と暮来書法
会、(今日) 南山名の海、朝後赤良
美、朱活文化史、(おと) 大山切、
術、(おと) 柿の、(おと) 丹天、
淡河、(おと) 丹天、(おと) 丹天、
午後日本橋、(おと) 丹天、(おと) 丹天、

榛原製

の別荘、(おと) 丹天、(おと) 丹天、
田、(おと) 丹天、(おと) 丹天、
隆、(おと) 丹天、(おと) 丹天、
田、(おと) 丹天、(おと) 丹天、

十七日

晴、昂、(おと) 丹天、(おと) 丹天、
院、(おと) 丹天、(おと) 丹天、
あ、(おと) 丹天、(おと) 丹天、
又、(おと) 丹天、(おと) 丹天、

鳥居龍虎の「備家」に於ける契丹の遠征を
清の十一時三刻雷鳴驟雨烈く宗家の夫人
可成幼女を強く、五時迄の舞に京都を極
へおきて終る、内庭より見ると喜壽白紙の
印と白流の花散れ、白紙歌集茶乳
集を宗家を来り、此紙の心ある京都より
近き終る、此紙集後述、亦同進一
と未書、午前十時地震あり、禱言家より
り甚も夫が刻の紙を強く来り

十八日

様原製

時雨急ぐ定し海もともなる、今打降しと未也
於此を著し、金瓶百回の子に交付、亦同に於け
り、後文より、此紙集を強く、増田義一、此
の二、中山あり、同氏百種、龍典才六、此も宗
と果て午後教業、此紙の伊東屋のスタン、此
紙を強く、亦冷紙集、此紙集、此紙集、此紙
集、此紙集

十九日

小雨相集、龍虎を著す、十時迄、地震あり

とくつく、午後も能く書き續く、四時正
田部の手紙を會し、臨志、會費十五圓拂返、坂口
就まゝに奉書、

二十日

此の
昨、冷氣秋の如し、朝来能く著し、森田美
梅も訪、午後散策、白木三紙を印して歸り、

二十一日

比岸入

昨、暑氣復す、朝来能く著し、方家の海

榛原製

是、是、澤金音、河魁、のき、来、振、和、衣、生、雅、來
二、今、氏、ハ、一、名、公、の、別、在、昨、方、退、去、の、思、い、今、日
人、も、多、く、掃、除、す、塵、埃、堆、積、思、望、校、入、目、と、南
え、ぬ、汚、穢、を、物、の、是、へ、う、と、ま、ふ、比、く、し、の、ま、い、こ
と、甚、しい、の、り、あ、ら、ぬ、長、壽、の、み、あ、り、列、し、思、を、代
あ、り、も、祝、詞、を、お、し、ま、さ、る、の、思、い、其、病、を、も、他、の
亦、強、ね、を、奉、り、す、人、を、憐、れ、む、故、今、在、に、掃、除、す

二十二日

昨、朝来能く著し、其、四、板、を、今、分、書、あ、ら、ぬ

座今午於井郡流々を来去又かある代々を未
書或時工業使各都を利り内各久克の
長壽自祝の今と踏み二案成今夕一日纏の
座を受け余座より謝辭と祝詞を述べ

二十三日

昨今村隆々々文墨の滴の横心摺百回交迄
利来、和氣山み未いの入野口利りりりりり
為の古谷石言云々を以て馬を馬りて山素三
の節、座し松浦武四郎画紙巻の情一連

榛原製

え是畧健文社を春城神話の首都核心
控(三十二頁)利来、亦又一午未、河午、
共くして流す、鹿島則来、未書

二十四日

昨、利来、河、本、流、去、と、簡、入、報、知、社、の
需り、座し、安世、利、二、則、を、書、き、送、る
十時、出、遊、日、本、指、通、と、物、を、舞、々、市、場、を、合
堂、酒、飲、し、七、切、り、新、湯、を、谷、本、古、の、湯、を
利、の、報、知、聞、を、り、り、り、り、川、上、源、一、り、子、息

日記家より来出平凡社より安成二〇二二
訪今日の日者熱九十度

二十五日

雨冷、書物展即社の高島屋にとも未向他
文社も春城洲社の校正摺九十頁到来
安成二〇の若山陽書五本の運二書其板本
妻沼馬子あゆみの心印持居の銅像の換
を約す小久江第一山田清心来二紙函工
河内運送紀念回者館と既生此書

榎原製

余又着服の拍立を富士来、五十元来
の収獲二十六回三十元也土田来六十元
郵送し来、平山巻く来書合次号後掲
以の富島利助を代志居とも書通先来
土田に問、予の投稿をぬり切つた
徳澤到来

二十六日

今朝来既と書、預金三百円引出
書信通一枚に蔵書一冊内書二冊

贈るべき品物さへなき悔儀 坂本嘉次馬子
訪ねたかへて廿四日迄の山本白雲も訪ひ共
先んじかりの山野梓君の所傳も亦
少扣訴も沈み終止する所あり
上仰入るも古物文官の門人等あり
一は伊豆院文公の一文五人許り
を觀て十二時俵念 樂部編輯部
心洋酒子二つ頼照も今村隆も未
出下種代りも小説を讀み時を
子洋酒二瓶持参る 將々

棟原製

二十七日

此朝未春成閑話の欄校正摺百餘枚
しりり健文社へ郵送す、竹内尉へ投函
形存：心算して三福の酒類一切も後文
墨紙の通八十頁を校し今村へ郵送す
武室も別在品登校場も今日村上隆也
易守長として引移ることを報す、今村
隆も美本間文墨紙の通本文四十二十
頁但墨紙と報し未だ坂口献文も
未書

二十八日

日

晴坂口献夫高田進一夏功共：内藤文亮
を訪り長壽の祝名を贈り、予も短冊十
枚函子二を贈り、早大出版部を以て未出
田東洋の物と贈り、未出、高田昌三、三浦
英、新沼宗舟、女子穿袴、味、湯漬
を送り、予、雜折千睡代、五十島旅、予
山百合到来、

二十九日

榎原製

晴、拂臨内子麻病に罹り、猶中の喫烟
一箱を烟考、於後、烟考に寄す、白百合の
花を寄す、及上、花考、注射を受
山田信也、未出、午後、富山、の囀、予、首
山房と自分との箱を、予、心、十枚、枚、成る、
村上、後、今、の花、升、後、移り、予、心、十枚、枚、成る、
予、文、三、年、未、

三十日

時、初来、能く記し、余の技、有る物、以て、報に
し、多し、并、藝術、版、に、接、し、平、凡、社、と、し、千、紙、講、座
七、冊、を、受、け、七、冊、の、千、紙、千、睡、代、り、と、藝、術、院
に、漫、遊、し、平、凡、社、と、し、其、前、余、の、前、年、千、紙
院、法、教、館、に、教、え、る、種、説、を、千、紙、講、座、に、
轉、載、し、以、し、七、冊、の、千、紙、講、座、に、
合、し、し、文、星、館、の、講、座、二、冊、八、頁、也、刊
来、其、以、桂、次、の、也、也、也、

三十一日

標原製

時、初来、文、星、館、の、講、座、百、頁、校、正、し、今、刊、し、
投、寄、し、其、以、桂、次、の、也、也、也、
夫、大、日、本、印、刷、會、社、と、し、而、社、令、併、記、念、品
を、抽、く、事、あり、紙、と、し、腕、時、計、一、つ、う、千、子
朱、色、後、二、百、冊、銅、瓶、一、個、(ふ、か、は、工、藝、社、
朱、色、平、凡、社、の、家、氏、三、冊、の、千、紙、講、座、
序、の、也、) 行、と、決、定、し、七、時、を、行、す、午、後、文
星、館、講、座、百、枚、校、正、し、講、座、夜、三、入、り、二、三、枚
法、社、と、し、来、前、年、の、合、在、品、一、代、三、十、四
冊、講、座

〇八月

一日

町、熱海町の囀と在し、坊内道尾地会圖書
館の着版を揮、五毛、竹内撫石、尾藤素
小、林、堅三、三島、揚、雜録を著す、出版部
リ、耳、前、部、熱海、稀、音、家、を、訪、ふ、代
二時迄、く、近、海、公、を、笑、く、一、時、驛、に

二日

町、所得税附加税百八十五圓七十四、四十五、五、納付、五十

東京製

公野、廣、瀬、の、順、も、二、母、十、七、回、二、竹、来、也、且、つ、物
を、歸、り、来、る、金、二、百、圓、預、金、引、出、す、及、今
在、る、二、三、の、油、度、を、持、来、る、午、時、日、本
橋、の、物、を、持、公、野、の、公、を、飯、七
州、の、宇、都、吉、古、の、時、も、物、を、歸、り、来、る、病
中、の、程、野、宗、八、に、兄、義、者、も、送、る、運、子、活、化
し、来、也、他、も、入、り、留、ま、り、深、文、部、物、也

三日

町、支、事、能、編、二十、物、校、校、念、し、七、郵、送、也

四時心取の熱河の生殿の標記指書も
夏廿二三日の暑熱をく午膳代り
後三上におき主人の言を承り夏代を
讀み始めると後又暑熱をく夜も小雨

四日

日

晴、大暑候、上共なり、徳川家三代の日本國
参詣古行吉月三十一日控前院、再書紀王
の書あり差展せん、旨の報あり、度候の
暇、同じ香堂も送る、健文社と未書

藤原製

散葉以右の三福、酒飯、ゆき、三土忠造
の由因、徒然草と讀み、旅記と筆す、夜未
雨あり

五日

雨、冷、朝未始候と筆す、後出時を移す
武田鼎一も、来書、午後中山へ参り
托せん、神保町書居の應史を執筆
今村の文、里作編、校正摺四る十頁印
ち終り、到達、夜未雨

六日

内、餘滴・校正摺百頁後正校し今村に送る。
大山切も来書、平凡社の飯島春敬邸本白
字未読、午時館に物を指し所を飯島
西宅後本校合を續け全部校了。石俣
三郎、可也。

七日

頃、今村隆身稿、文墨餘滴の標題を文
墨餘滴と改む。校正と筆す。中尾河本

『文墨餘滴』の英文の詩を『文墨餘滴』の巻
山本三山陽方稿の題意と改む。中尾河本
其外、山本は『文墨餘滴』の日本印刷会誌
リ新巻の豆本、午讀の巻法十教部を寄
り来す。中尾河本より、古稿疑二大山切
ニ投函。野本白雲『文墨餘滴』と
『文墨餘滴』

八日

頃、朝来「神儀所」と著す。松村福三
海山陽の古稿の鑑定と改む。新稿の山本

本稿代作紙と書六波田渡橋より至此山景
抄詩と字ありて云々、随筆下標題文、墨色
淡押直毛、今村隆一、投書、平凡之
野本白雲、簡す人も微少、庭と揮除
夜未雨あり

九日

晴、平山房、多村二程三十枚、殺郵、重成中
村柳一、大隈、造、墨、う、き、来、淡、田、渡
橋、心、を、か、り、短、収、と、書、又、是、山、景、三

平凡社より夏草紙、白鳳紙換本一巻、平凡社に
貸付、午後数葉、大、書、に、因、方、と、辨、り、ゆ、く、瓦
未雨

十日

小雨、早朝起き、し、香、画、骨、差、死、に、投
稿、ま、く、名、家、紙、印、芝、集、の、文、を、使、う
八時、し、十、枚、成、り、國、際、六、代、本、の、景、を
松本、本、紙、抄、見、祐、前、の、ゴ、ス、マ、リ、ク、を、讀、み、徹
宵、洋、雨

十一日

日

雨。りり。の。洞。山。地。の。出。を。頼。り。朝。来。じ。ス。マ。ー。ク。
後。と。後。の。急。山。車。三。車。の。言。意。の。事。持。込。り。
空。の。ま。ま。の。福。を。交。付。す。午。後。理。科。友。会。の。山。の。山。
い。ま。ま。の。形。を。筆。下。し。て。夜。に。入。り。

十二日

晏夫朝来じスマールクを漬之雜録と筆を
傳ふ来りお宿の散策三福と酒飲了由子
由病と悩む送をいふ。預金三百圓引出し

神楽

二の田口に泊す。陸合者七執務中。永田
申務らも現役中。姑に刺せん。危馬との事。
外出の二三の来問。平氏社に貸付の経
巻。戻す。

十三日

小西。他。又。社。の。春。假。開。活。の。各。部。様。に。招。る。二
日。更。再。校。と。需。の。来。り。武。田。上。と。才。月。の。入。押。見
を。托。せん。且。持。ち。終。り。旅。の。後。を。筆。下。す。今。井。一
印。来。訪。取。上。来。り。例。の。巨。財。を。施。す。お。ま。り。

も、蔬菜雞卵を賜り、米は大阪便利米と、大御
屋書(今上)に就て米系、有橋銀二と、米也
随基、早稲田、う校、招六、四頁、到、米、夜
米、今打怪、と、米書、

十四日

雨、早大、親工、種、教、授、山、武、百、昇、山、陽、の、詩、帳
を、授、り、可、り、隨、定、を、給、ふ、今、牛、一、卵、も、米、也
又、星、の、法、入、つ、き、今、村、を、電、話、利、の、古、物
辰、印、社、も、噺、を、ん、り、隨、考、の、材、料、を、定

ち、一、時、を、費、す、午、後、五、分、か、百、九、十、件、を、得
三、時、に、出、解、給、付、の、物、を、贈、り、給、ふ、米、也、酒、類
一、と、切、へ、え、河、内、の、村、路、請、堀、も、米、也、新
下、の、契、件、十、件、の、つ、き、自、家、の、進、退、を、三、々
し、と、書、す、

十五日

雨、傳、い、も、う、金、銭、を、授、ち、金、割、協、池、羅、尼、に
の、贈、送、十、枚、書、北、米、凡、社、の、校、郵、行、村、六、八
の、亦、州、の、(十七、日、米、也、武) 死亡、居、生、の、余、の、名、を、列

才香典十山路之今打隆身之又墨竹法
二十部之檢印も持才檢印證又又
部一割印稅物代在田三十也午後
早稲田の校舎に返致す、通育兩
が

十二日

而消之民沢印を大隈志候研究の時
長岡の香を七集と能知と書し、石塚三郎よ
り御禮の山の香を利来午後七時知と

棟原製

葉し七八枚成之鹿之島之葉子及松片山松
油片の未の執着中、のり、不遇

十七日

案天武富昇の未簡、校友片山松沈印
も法、公意候、押置代能知も其の跡也
及日献夫成時柳北道陣、のき未法、陸軍
の形と心、時を移す、午後陸軍宗人の告
め式、臨志七尾、谷村一太、の志、就
も陸軍、早稲田の校舎、指百七十枚、頁と

列の五日日深随筆三十枚善心と修す
吉和彦印の囃し奉り通筆を止むとす也

十八日

日

時赴海と柳北家の福と坂口献文の寄る也
是早稲田の板正招の十頁と板元今村の板
郵十一時送んじ土階新右の三福二唄し帰
未随筆十枚善心

十九日

時相未随筆の約七紙の五十公室の海念寺

榎原製

の経河河定よりさし市崎銀大らとも来書電
法相納付田村莊二のすれ物抱者文墨
後法知悉本出果納本墨と報し未のす
後七巻筆の存り九の十頁の成之武墨
事り終り巻と掃陰一筆如と懸り理
文墨餘積且郵到未

二十日

時相未随筆の移も終る坂本嘉次郎
らと来書十一時送んじ散葉可成るの宛

量度改定を觀終りの分書。酒造して四
又造書の稿を修む。土田亦改らるの刊
了。茶が華大のしるし。來て。藝術殿の書
稿を常々來り。終る社翰の版法の日本
讀む。土田の梅村を記す。

廿一日

時朝未造書の稿を修む。山田清心來り。金
子筑の執筆の古遺の確。えり。おと。未
き。余のし。刊。造。書。を。山。田。に。托。し。た。の。美

改ら。昭。又。尾。の。道。の。龍。虎。殿。礼。い。し。も
酒。を。定。め。せ。し。未。の。子。後。不。取。り。未。獨。亦。造。書
の。稿。を。終。る。松。井。直。一。様。士。の。文。藝。と。金。邊。を
讀。む。淨。念。寺。の。件。に。つ。き。市。中。の。銀。六。ら。大。井
六。と。丈。し。し。未。者。余。の。寄。稿。を。為。め。せ。終
稿。の。刊。造。名。取。真。司。と。し。し。命。任。限
信。堂。の。本。稿。と。題。す。る。ハ。ン。フ。ト。を。定。め。し。未

廿二日

昨、今村隆三、商人干家、文墨、紙、
書、送、方、人名、表、渡、信、頼、す、午後、終、見
祇、船、の、形、張、の、日本、と、誤、み、又、隨、筆、の、物
を、修、り、

会三日

所、旅、の、思、出、一、二、冊、も、美術、往、来、に、投、入、
な、る、利、未、換、券、紙、一、種、を、定、め、其、川
俣、澄、一、種、の、物、を、題、り、未、く、大、本、撰
集、し、未、了、

横原製

会四日

昨、朝、来、隨、筆、の、稿、を、修、め、時、を、あ、ら、り、村、山
祐、し、ゆ、子、次、文、墨、紙、法、と、其、の、後、上、江、島、日
り、注、射、を、施、し、し、ま、る、午後、去、紙、を、思、ひ、の、地
差、十、枚、筆、心、晚、間、京、都、の、下、村、山、大、
郎、子、次、送、般、洋、行、と、一、冬、所、の、自、言
字、と、し、り、終、り、し、今、一、冊、を、二、冊、終、り、
隨、筆、早、稲、田、の、稿、に、摺、二、五、六、百、と、別、表

会五日

日

時、州来は兼早稲四百更に、校中^上に郵記
康殿日尊未迄午後随筆の稿を修む
新編鑑言三作の刊列

廿六日

時、随筆下の稿を終む、鑑言三作元三の書き
状を修む、散策録上の稿も讀む下谷の分
を、飲して少く、亦随筆下の稿を終む
今の花より、益教教録持帰る、和田英より
来書

藤原製

廿七日

時、山尉和田英に、校中隨筆下の稿を修む
午後猛烈な驟雨あり、余の校稿を収めざる
意、只自筆能徳、振新、小山、長曲の刊
列

二十八日

雨、雷鳴、朝来隨筆下の稿を終む、美術性
来日記、春小窓、龍虎、来り、四方、武蔵の
全の随筆、下谷を去る、終日隨筆の執

業ニ没歟と庶民島ノ枝友片山松城
某書、是ノ入りノ

二十一日

而自、朝来、淡白、境地、を業、旭、十、の、成
ニ、美、折、往、来、上、の、回、ニ、新、道、直、路、往、次、
、と、余、ハ、去、り、て、若、者、の、商、物、利、ハ、三、万、五、十、
、銀、の、貯、金、計、出、す、白、木、倉、高、松、尾、勘、定、七
、十、餘、兩、不、切、手、と、切、之、銀、行、預、金、残、額、
、二、千、七、百、餘、兩、也、颯、風、志、ま、る、と、恙、ハ、無、
、

横原製

午後、隨、者、ノ、稿、を、終、り、夕、刻、雨、風、去、り、

三十日

時、今、朝、昂、昂、作、事、傳、先、主、河、ノ、赴、人、手、の、手、紙、地
、業、四、題、を、物、り、多、平、凡、社、の、手、紙、持、府、才
、八、界、列、来、隨、者、の、行、を、終、り、十、日、間、日、取、と
、一、と、業、の、行、隨、書、ハ、十、則、有、り、内、短、篇
、の、目、録、に、必、り、法、法、珠、法、と、題、す、長、篇
、未、不、信、を、之、と、し、舊、記、を、檢、し、此、法、に、禮
、を、得、し、九、隨、者、ノ、報、出、べ、し、夜、ノ、入、り

二兒帰宅

三十一日

雨驟るまきりに去来、相来地を去る
丹波のなる大なりし来也他文社
春城閣法の校正招き百廿五日に到来
中央の海社しし来言午後外出し
来也地を去る執事

榎原製

〇九月

一日

日曜 大震記念日

雨止まりし降り十三年の今日の大震
日よりのもふ波の清濁もて冷気も
相来あきりし地を去る相来地を去る
其の箱をぬきりし書氣に指列竹内尉
余の春城閣法に六五二を述すも
来也午後去るに港に光を伴ふる浅き
言も去りし遊に千位大橋に列り小魚の
すくめ焼を籍あて置くも雨甘す

二日

雨朝未飽書、日稿を終ゆ正午迄二十頁書き
了、夜口献書、其法、喜つゆ桂文、六里迄
六、中、馬、勤先香、受、白、二、差、入、二、証、書、二
保証を請ふ、流、二、印、す、早、六、三、四、中、稿
去、滿、懸、就、二、と、類、も、未、二、午、後、未、飽、書
十頁、行、成、二、稿、業、早、稿、四、の、校、正、招、別、未、品
終、二、三、百、三、十、一、頁、也

三日

藤原製

雨朝未飽書、稿二十頁成、新河六山三八の
死、云、官、報、刊、二、山、田、清、能、才、功、續、也、今、本
配、本、文、墨、詔、法、也、其、の、劉、在、泰、其、功、今、の
摺、意、を、請、ふ、也、石、塚、二、二、文、墨、詔、法
を、投、郵、午、後、稿、業、早、稿、四、の、校、令、招、也
校、心、二、時、三、と、果、二、今、折、書、二、意、也

四日

雨ぬ、朝東軟書、北流に程業、一、日、早、三、中
山、忠、道、如、河、の、紙、墨、山、入、を、齋、二、未、二、未、二、

書指及次中一もし未書、村修詩集也、未も報す
野舟の集、成の治編、自史才五冊、臣診大原、歴
期十五年、十七年ある、(前年、克を伴わぬ、敬
美、高橋尾名也、酒飯して、く、物書、後、又
随、市、著、心、達、相、三、送、の、手、外、史、の、形、乃、の
小山三八、た、ま、の、き、梅、状、と、考、を、ま、る、

五日

今朝四時、曉、受り、と、再、い、睡、時、と、得、す、起、き、て
昨日、方、共、舞、の、誌、業、ハ、頁、起、筆、に、終、る、

棟原製

村修詩集、乃、は、因、り、改、点、迄、は、通、る、各、に、訂、正、を、行、は、し、
校、本、と、其、比、馬、才、為、の、二、冊、指、さ、る、の、銅、急、と、名、物、押
重、毛、を、押、し、こ、も、る、建、文、金、も、も、春、城、用、紙、の
村、正、指、合、部、刊、本、村、修、を、付、之、て、形、名
の、三、種、酒、公、ら、し、こ、め、大、政、の、吉、田、祥、三、が
一、龍、湖、館、出、る、録、も、一、方、七、年、の、余、が、半、を
頭、の、文、を、録、し、り、其、後、の、築、(聚、樂、在、國、)柳、地
の、修、と、建、の、計、違、方、(印、刷、成、る、春、城、用、紙、首
部、五、十、頁、を、校、す、十、六、日、睦、合、の、通、に、別、の、真
島、守、六、郎、の、未、書、の、

六日

晴、日本圖書館協会より十三日理ふとの通
知あり、山田氏化へて未書、考法を今も
善考、野譜、并考法を今も一冊配本、朝
未春、故閑話の小序を著す、初稿成る午
後、新紙を著す、亦凡心并、市以缺大中、授
簡花素而

七日

曇、春城閑話の序を健文社へ郵送、吉田

棟原製

群三とて、海心を長る、二万四千餘金引出、
随筆一編、筆化、午後三時、四時、長満解、
出法より、見送り、生田春人、大島山健、
行、文星の法一冊、四冊、持贈、版元、
文星、改法、士無利、未、執海、海花、寺住、
馬場、直道、と、西也、
日

八日

日

晴、朝未、隨筆を録す、夜、次、連、相、急、死、の
節、如、生、の、今、村、隆、素、法、稀、希、家、六、四、中、に、近

刊臨書を贈る、十一時教米、以右の三福に
面致し、何の贈え法輔のバウロニ、尚と讀む

九日

時、山田法心、求法、經と、志山、岳の、島内、後
三、來、法、心、足、样、品、銅、像、に、刻、字、に、の、き、こ
を、又、法、心、或、法、心、の、傳、を、手、後、バウロニ、を
讀む。

十日

棟原製

時、巴、バウロニ、讀、了、長、壽、法、心、岳、下、実、業
日、本、又、後、来、取、口、獻、去、来、所、是、北、村、奉、吟
の、自、業、讀、集、を、持、去、を、付、く、と、巴、信、に、以、て
抄、を、贈、り、ゆ、以、上、巴、信、月、に、致、し、て、巴、信、の、贈
而、別、の、給、書、家、の、巴、信、に、奉、送、代、行、紙、を、贈、り、

十一日

時、冷、朝、と、相、毫、中、教、取、成、る、亦、久、一、年、其
リ、近、海、に、ハ、ス、レ、バ、其、受、の、贈、を、致、す、予、の
也、是、追、書、と、贈、り、以、巴、信、の、其、受、也、内

原意は、梅、瓜、菜、三つあり、拙意を以て、午
後、中山、石の嶺、三つあり、小野、梅、銅、條、の、刻
字、と、拙、意、を、以、て、郵、送、す、る、に、二、百、廿、の、前、の、元
無、事、の、平、穩、な、る、も、冷、氣、未、平、し、今、洋、意
海、の、事、未、平、し、村、の、事、に、関、し

十二日

晴、風、二、百、廿、の、前、も、無、事、の、平、穩、な、る、も、冷、氣、未、平、し、今、洋、意
海、の、事、未、平、し、村、の、事、に、関、し、時、と、事、を、以、て、午、後、郵、送、を、以、

藤原製

す、今、村、路、を、以、て、拙、意、を、以、て、早、秋、田、の、挿、給、を
示、さ、す、ト、ハ、ス、ト、ハ、ノ、二、百、廿、の、前、を、以、て、今、

十三日

晴、今、洋、意、海、の、嶺、三、つ、あり、小、野、梅、銅、條、の、刻
字、と、拙、意、を、以、て、郵、送、す、る、に、二、百、廿、の、前、の、元
無、事、の、平、穩、な、る、も、冷、氣、未、平、し、今、洋、意
海、の、事、未、平、し、村、の、事、に、関、し、時、と、事、を、以、て、午、後、郵、送、を、以、

市中目録のありては、焼き掛ひ一千六百餘戸
亡ぶ、積書三万冊、都下の江吏の部
も出さざりし、夜ふゆ、五十島、旗の元母
馬の部、ちう、市井改事、橋上、花鳥、谷竹、登
也、

十四日

晴、陸山、吹波、し、書余の押書、も、求め、
涼、別格、物、故、の、懸、持、に、行、り、道、途、を、改、り、
初、行、二、冊、割、書、、雜、記、を、著、し、、教、書、、果
有、記、望、に、拍、を、持、つ、、書、の、存、在、を、、改、し、

棟原製

午後雨あり

十五日

日

雨、郷人の為、小切、紙、指、差、、陸、軍、早、稻、田、
二、百、部、の、換、印、を、捺、、し、、於、、此、、と、、著、、す
午、後、、白、本、を、、書、、進、、骨、、量、、改、、利、、印、、合
三、利、、り、、又、、軍、、艦、、足、、和、、射、、撃、、訓、、練、、中、、砲、、塔、
生、火、、を、、せ、、し、、乘、、組、、員、、四、、十、、名、、を、、重、、傷、、と
合、面、、積、、出、、流、、し、、砲、、臺、、早、、稻、、田、、の、、換、、印

正々欲なき、朝鮮若田中、穂積の消息
列す。

十六日

昨迄、朝来艦船を善す、松本喜一、船
日本国者、破協合の、し況おと、ま、的、百、法、を
志す、大衆、福、論、此、の、元、法、表、決、し、と、来、書、の、
石、海、に、中、張、後、し、し、に、来、以、善、若、田、大、使、の、
状況と、報、す、神、兵、隊、事、件、孫、審、終、後、内、
乱、罪、に、す、の、罪、の、出、づ、五、特、紅、美、館、に、列、す、

榎原製

睦会に、信、む、し、し、の、骨、校、に、五、人、り、ま、し、榎、志、
一、印、し、と、夫、去、布、哇、オ、ア、ク、島、ワ、イ、バ、フ、
枝、野、留、吉、し、し、来、書、威、部、論、一、印、し、
揮、毫、を、求、め、来、り、且、の、石、賦、を、去、り、し、

十七日

是、日、五、時、迄、地、震、あり、朝、来、揮、毫、又、船、船、を、
著、す、田、村、壯、二、印、し、身、法、坂、上、弘、義、し、し、
注、射、し、ま、す、く、午、後、五、時、井、崎、孝、侍、士、并、各、
武、の、告、め、武、二、路、を、又、而、す、と、物、耳、又、旋、外、

七年子通官降而

十八日

雨冷、換忠一、本間隆一、漆山、順流、是、書、去月、日課、迄、地、名、の、考、一、店、心、理、隨、筆、早、稻、の、出、身、と、冊、到、来、出、版、の、河、中、教、案、日、本、橋、の、物、を、懸、甚、冬、所、致、今、打、隆、と、来、向、有、切、の、日本、發、表、と、讀、む、

十九日

棟原製

時、破、計、愉、一、身、の、發、葉、と、結、合、押、是、毛、印、教、案、結、之、教、案、涉、考、の、物、を、懸、八、日、本、橋、有、臨、局、合、考、の、領、と、情、の、以、由、來、林、と、解、利、未、大、江、乙、夜、門、來、功、施、善、早、稻、田、と、與、小、愛、の、磨、と、讀、む、竹、内、針、三、男、死、志、の、報、利、の、帛、状、も、考、の、林、致、未、夫、と、未、也、

二十日

時、却、来、考、物、展、記、と、出、版、の、二、冊、の、地、景、の、目、録、と、懸、記、と、二、冊、四、六、号、史、料、刊、編

籍所未付集の題も予の古文書一過を大日
本史料に収録せんことを求むる儀す、
龜山書、南山古梁の詩道紀の巻二
巻を齋より取り示す、山陽翁詩稿の口
言をちりて其石、石函三の系功、三田の初
原次々として数巻を報し、烏丸大守
くも夫也、亦亦次々、板間、近刊地
華、二程早大園古録、野三、徳業早稿
四、今井一印、と題す、午後讀む、時を移
す

榎原製

二十一日

兩朝系譜録と書す、山田清也、平坂而
を旨として、系録記述に、又卯の陶板を贈る
懐、心電後、隨書、の程と属す、又能法を讀
又時を移す

二十二日

而、予の投稿を數り、美術維新、松村、漆
山、順流をも未言、唯、杜、森、三、書、男、の、不、刊、之
山、田、清、也、熱、海、と、建、つ、た、は、い、は、い、と、進、ぶ、美、術

墓碑の文に雄黄を加て交じり今村隆春
所領の丹三見の末孫、徳業早稲田七世
ふ午辰をせしむるあり、今村隆春、徳業
早稲田十五郎新末、午後新末を善くす

二十三日

雨の夜、通官向より今朝池の漸中、満つ野
村或三長男死すといひ、市杖をりて、来
月の限門今このき、小舟江三、早稲田十一時迄
は、名おろし、河り三福と語り、物電後、隆春

棟原製

市島銀太のいふ、洋金寺住持のいふ
来書、十月五日、中興公論社より、秋巻代座
観劇、招ふ、井田基成、来也

二十四日

雨、北の夏、颯風、涼、夏の夜、秋巻、あり、か、東京
い、幸、見、免、の、入、り、今、朝、二、時、分、北、震、り、朝
来、能、知、と、書、い、す、午、後、向、合、と、書、い、す

二十五日

二十七日

昨今朝、江ノ川の郡馬千疋寄近路の六福と
朝子、郡馬殊々、快実者しく四萬疋の
温床、既全滅死傷極多し、幸向子
若谷村一太り、故く、地華早稲田、若返、新
根と著す、其実の節外、更々出づ、故東太
郎の、畠ん、方、即、午、し、五時、真、終、其、喜、こ
振、ん、日、比、谷、の、山、の、梅、く、行、き、ゆ、り、そ、後、時、代、の
懸、友、と、合、す、新、は、の、栗、井、く、と、大、若、入、梨、果
と、寄、り、あ、り、閑、息、の、う、り、上、道、一、り、一、家、の

棟原製

本以、惣、此、の、も、身、方、あ、り、江、野、定、流、を、鳥、取
お、ま、同、色、飯、と、さ、う、を、換、抄、枕、利、の、後、後、若
石、橋、三、郎、の、節、之、利、の、今、元、山、の、梅、合、合、の、四、反、向
若、又、さ、大、若、貴、一、郡、馬、興、喜、積、忠、一、中、平、原
又、さ、う、森、田、方、中、の、若、居、半、平、一、玉、崎、山、也

二十八日

昨、満、沙、江、寄、り、田、中、穂、積、の、冷、と、さ、り、利、成、金
三、万、二、十、圓、換、金、引、出、す、栗、林、若、一、海、島、七
若、さ、う、新、右、の、三、福、と、酒、合、り、招、生、と、通、り、物、也

漢刻傳抄録(坊ゆき)子の名をとも家院の礼と
し、山崎氏も田の禮をおたて、モ一八廿二の小
山集を讀む、市山幸次郎とて来り書院
谷のりも次

二十九日 日

町、朝未始海と書す、龜山集三書書院
齋く、来り、日モ一八廿二の十六日と讀む、而後
流ましく来り、集古今く、今又名海利来、
小山秋夫、子坊、田智納、查の申出、喜利、
六時大隈今、起き、櫻門、今の持事、今、臨

榎原製

正、市山幸次郎の考、三枚州、是

三十日

町、九時、此地、空も、五十、治、名、母、病、氣、座、の、と、心
き、元、名、金、子、を、送、り、蘇、人、劉、意、春、の、信、の、押
高、毛、を、交、付、す、母、の、病、状、を、傳、へ、く、依、り、在、所、
破、損、の、眼、鏡、修、復、の、為、相、替、の、金、を、と、り、
す、可、治、名、金、を、酒、飲、し、物、を、大、坂、の、森
屋、と、り、名、金、を、信、院、到、日、出、を、定、ま、
午、後、二、時、漢、刻、傳、抄、録、の、評、議、を、行、ふ

為公別業修後身万回千田中其後志大工
；拂の洗海新京を大の山一と未出今
村降と未書

〇十月

一日

時、國勢神意の中先志を提出す、海谷部
リ克、瑞物を造る未、麻生山并、隨
早稲田と野、十一時物、九日、刊
書を撰八、下公の爪月堂、録して

榎原製

文三子、物を扱理す、新報を筆し、夜
入、金二万圓、新入、文三、二、百交
付

二日

雨系久一、自、ツル子、アを、未
之朝、河、旗記を、漆山、出、遊、
押、需、型、出、遊、
成、三、紙、の、新、築、入、り、海、谷、山、を、見、
山、峰、を、合、を、飲、し、て、物、く、山、を、甲、
藤、平、花、山、を、題、運、を、也、

八公を招く。旅の事と書し又刻にまじり麻生山を
よる所なり。

三日

雨平山堂依頼の山陽河保寺本の運三個を
署中央公舎社と云ふ親刻の切符到来。此
河保院記を讀み龜山幸三道長の歌意を
おろしめし是運を結ぶ即時の文並不旅の
と書し又京都大文子尾松松を寄
七言の歌外に伊工所職を報し竹内

榎原製

劇題所傑と未言

四日

明徳堂早稲田の採とぬめり平稲田大言以
少利の元湛公静泊河よりき随堂早稲
田持贈坊玉細の岩上方外、余の徳氣印諸を
送り竹内尉二一問を投し春城閑話のとき
云り又立判辨別魚河に随堂早稲田を
送り平山をよる画跋を好り来り平後旅の
事す浅田澱橋と未言。

五日

晴、上原商店の訃報、初末、終末と有る、子孫、
雄天、津村幸一、中、依倉、三、三、松、谷、金、銀、
を、併、し、と、有、り、物、を、終、る、小、茶、卵、
し、七、時、と、来、り、婦、人、作、出、部、派、難、の、と、技、
術、を、需、め、有、り、北、京、の、大、山、に、し、未、出、老、
行、機、三、十、八、屋、上、と、い、く、三、方、回、款、金、引、出、す、小、
柴、に、隨、筆、早、稲、田、を、其、子、稻、門、の、志、を、受、り、
小、柴、の、志、を、い、く、三、牧、敏、次、の、身、後、千、後、三、
時、中、央、公、論、社、の、紀、念、会、に、招、け、入、新、舞、舞、伎、座、

榎原製

の、劇、を、観、る、全、部、買、切、り、と、舞、台、に、中、央、公、論、社、
由、年、の、式、を、行、い、平、小、柴、の、身、後、早、く、引、去、り、
小、林、儀、も、神、田、支、湯、に、松、谷、金、銀、を、終、り、未、
だ、行、内、尉、と、未、尚、十、月、十、八、日、隈、門、へ、入、り、
の、通、知、に、此、日、決、り、持、六、二、萬、入、京、日、以、後、
迎、市、中、張、り、

六日

晴、在、爪、爪、未、り、市、丹、其、昌、花、を、物、と、有、り、
と、有、り、爪、哇、橋、の、式、(早、稲、田、在、生、) 其、橋、
土、産、を、終、り、小、林、神、田、の、海、を、と、有、り、

後引し七尾佐休の維新史業談を讀み夕
刻に刻の飯井新三印を未言

九日

所相未旅記を業談海法純の文部詰利可談
江戸文部業談月報に和田若生の八丈傳注釋
に就て一文を寄ることを需む業方中可
沿此心集一再略る。大連若大島に
可行、京師伏之下村早の一々を
長谷川誠也の未言午後夜業談を

棟原製

江戸文部の業談海法純の文部詰利可談
を略る未言。破名取鳥印の外田村若生
器の和田若生傳士の八丈傳の研究に
版の業談海法純の文部詰利可談を
樋口若中代の未言

十日

晴冷、菊池信明の別状を讀み、海法純文部
詰利の業談破名取鳥印の外田村若生
を以て信物産産白樺の業本と曰へる指圖
を梅本居の報き庭園に植へる南の山

リ余好州三十日到来、淨念寺、廣瀬の順
より葡萄酒一函到来、可凡社の野本白中官持本施
亦の百廿一祭りのとき来た、京都伏見下村昇
大巾のしと、所采紀念として寄す、杖を贈
り来た、午後三時正の所ある、是次申と、功亦
稀に復た、おのり人今あり、縁てある、徳う、書
意部類二十の點、哲帯、川原、平山、冬、心
畫、夫、三日、強、利、来、所得、稅、徵、票、利、

十一日

榛原製

下村昇、し、物、廣、瀬、の、杖、を、贈、り、來、り、市、的
鐵、部、類、二十、の、點、哲、帯、川、原、平、山、冬、心、
を、寄、す、杖、の、邊、印、二、點、可、凡、社、の、杖、を、贈、り、來、り、
少、出、つ、十一、時、供、儀、が、出、日本、存、心、助、の、物、を、贈、
り、も、贈、り、來、り、念、を、し、致、し、七、物、の、京、城、が、七、本、
三、も、も、來、り、廣、瀬、の、杖、を、贈、り、來、り、
の、杖、法、華、并、も、も、贈、り、來、り、需、め、奉、り、丹、
兵、六、百、廿、一、の、時、來、り、満、洲、旅、り、の、田、中、法、長、今、
日、尚、余、の、不、幸、中、の、所、何、を、寄、す、

十二日

吹、朔未始、秋も暮す、深澤、八木、坂、田中
院長、此の地、早稲田と深澤に托す、深
澤も一本を賜ふ、社内道邊、埋骨の地、海
法苑寺木を速く、つらき、五松田、寺、附申込
ひ、関大ら、く、未志、午後、お、銀、産、に、ス、コ、ト
アツ、シ、ヨ、の、秋、を、晴、め、度、候、の、順、に、お、心、を、な、す、お
辰昌三、く、く、未、書、る

十三日

日

此、朔未始、秋も暮す、深澤、八木、坂、田中

榛原製

早稲田、秋も暮す、深澤、八木、坂、田中
院長、此の地、早稲田と深澤に托す、深
澤も一本を賜ふ、社内道邊、埋骨の地、海
法苑寺木を速く、つらき、五松田、寺、附申込
ひ、関大ら、く、未志、午後、お、銀、産、に、ス、コ、ト
アツ、シ、ヨ、の、秋、を、晴、め、度、候、の、順、に、お、心、を、な、す、お
辰昌三、く、く、未、書、る

十四日

時相未隨筆の稿を伝ふ、京都東一二書局が後
、押巻を二冊あり、喜子回吉館とも未出、五十巻
族中へも来り来、十時由子の付三紙松坂成
二巻改を辨ひ高時尾名物に似し七巻あり、
京都重極し物を辨し来り、其時、海也と名する
午後隨筆の原稿を伝ふ。

十五日

時相未隨筆の原稿を伝ふ、日本回吉館協分
とて後書肉問のボスナリと名する来り、紙

榎原製

後加藤田下改紙と生剝を賜り来り、冊是
宗末に隨筆早稲田を郵投、午後松坂成尾を
河の二巻の海河開張四十五内年紀念行
松坂成尾の原稿今と名する、今村隆と名
来り、田下改紙、海河も名する、午後松
平と名する、甲物葡萄園を名する、高松の未
杉原福と名する、名家私印の印を教を需
りあり。

十六日

而軒輊全到山者亦林以三山清志列之朝未施
善の分給を善くも 田村壯三中 阪口獻吉其功
全到山くも 今井 阪谷山中 橋井中 田等亦
と善の端者判表、文墨致後の話論と物め等
北彌の積、指朝、平山也くも 山王莊辰親
回給を寄せりも、手塚弘平、葡萄を給えり
汝志を善く、午後未施善の及行と修し時と長
五時紅葉候の時今、臨志、田中穂積、井上辰丸
卯増田表くと合す

棟原製

十七日

新古今

竹山の助也の書、左に小島文と早す、磯子
就島即林、酒高山、植枿一鉢と給くも、中山も
の島内、亦酒、小島、君相、後刻字、揮毫、南金
五十四持り表、九時既くも、而ふも、今村隆耳
酒、藤、美、一、夕、流、の、舟、版、を、流、山、常、務、の、辰、理
社、囀、臨、善、の、日、次、を、作、り、午、後、酒、堂、の、敷、菜
阪口獻吉に文稿を寄す、字、新、古今、直、の、後、書
子、表、の

十八日

朝来押尾山陽道一運渡山崎書房成
り、坂口獻吉に前より、隆七坂口年次十一月三
日先人五峯居士の法要に招き、山田清也年次
小林堅三朝鮮をゆ来一二書を齎し、先人
を五十四才一歩り、預け入、亦久一歩福の
同志を招き、お来訪、午後七時、押尾
を渡後、原渡山取道して送り、清政赤井景福
の節、寺へ花印を四十顆の印箋を心
時と移す、五時を限り、今夕、臨む、余符子

標原製

と、し、坊を輪違、其分二十五人例り、夫
差の通、橋渡、井上精二服部宗
三吉、く、来也、府税市税七十由、徴家
引る、若お辰野社と、投符を、西、山、寺、

十九日

時、香田、御書、松赤松、景福、家、荷、名家、私印
の印箋を、送、り、越、橋、藤、を、印刷、分、札、に、印
す、お、原、田、久、新、子、派、跡、に、阪、口、献、吉、年、次、書
を、代、り、り、初、の、三、福、に、改、す、

二十日

日

晴、晴人從生部伊原理基より未言言山度
大言海四等(天崖)出来より配本と云ふと十
一時出遊馬崎屋合中、領しと仰る大正九
年、韓法を経て遠東、漸く馬崎の日流
と授ふ、一と讀(可)時と尋ふ

二十一日

晴、破金鷲野取高山植木二鉢を贈らる
今、劇嘉慶より未言、市と御品と云ふ

榎原製

つき随筆の原稿を云ふ 山刊三村外傳の
在期春文を贈る、随筆、早稲田を贈る、高
杉、三、福、崎、池、の、小、海、を、云、ふ、也、也、也、也、
午後、晴、乘、一、散、策、日、比、心、園、内、を、歩、
一、仲、の、山、に、方、々、西、村、真、次、主、持、の、七、堂、に、行、
杖、正、招、を、寄、り、余、の、杖、園、を、訪、ふ、井、上
源、に、送、冊、去、

二十二日

晴、朝来書物、居、の、御、紙、を、交、付、す、心、を、存、す、

と整理す、供へば敷策曰以公心國に於て
御座、故に之を以て又多福と敬正記す、丹
黒原平しきし粟と是し、未だ井上源しを
二市状を記す

二十三日

時、朝来迄葦の福と敬正記す、婿谷丸丸
岡歩堀へり、智徳の家の新河に此にのき未
流、廿八日、鶴のの成座に於ける、婿内、為細、
除き平式に記す。丹黒原平より福澤三

榛原製

と記すとあり、午後敷策、浅茶、祝言と書
す、赤松景福と記す、利也。

二十四日

時、朝来迄葦、原村と敬正記す、川瀬一馬、
河、振高の印二顆、振高記念祭の陣列、刃袋
付、井上精二、未流、以て集成、毎年、中、の書
川、三のき、掃蕩、又、同、備、年、中、の、才、六、等、配、本
安田恭吾の計、利也、午後、立、降、陣、列、の、日
本、意、家、創、業、支、那、殿、を、観、又、河、井

寛政印心御書の陣列を觀る外出中今
村隆易記安田恭吾死志のつき吊状を呈
す

廿五。

明朝未隨著の稿を理し、破正監印
書功、又高山栴那二益を辨じ、早大出版
部より山形、西洋哲學史の概説(葉木亮葉
を空の在り、村山秋浦、山陽道志)の
幅運に赴き、録録序書の田代亮公

の研成を報す、款全三万五千四百五十五
安田善次郎の海名書論海一巻を寄せ
来り、二時日本橋迄を散策、亮の考り物を
購ひ、山形又隨著の稿万枚を致し給
す、

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

様原製

京はい茶

